

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 3 月 31 日

仕 事 の 内 容	東大和市スイーツウォーキング			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	3 - 6	-
【施策名】 観光事業の推進	総合計画書 (ページ)	79	

予算名	款 7	商工費	項 1	商工費	目 3	観光費	事業 1	観光推進事業
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	------	--------

1	こ の 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		スイーツウォーキング参加店舗	→参加店舗数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		食べ歩きウォーキングを実施することで、新規顧客の開拓、メニュー紹介での売り上げ増を図る。	→参加した店舗中、イベントにより売上が向上した、または新規顧客の開拓につながった店舗の割合。
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		スイーツウォーキングを実施し参加者を募った(定員600名)	→開催回数

2	指 標 の 推 移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	店舗	17	16	19	/	/
		成果指標	②の数値	%	約35%~70%	約50%~70%	約50%~70%	/	/
		目 標	②の目標値	%	/	/	/	/	/
			目標値設定の考え方	新規顧客の開拓及び売上げ増加を回答した店舗数(店舗アンケート参照)の割合					
活動指標	③の数値	回	2	2	2	/	/		

3	経 費	事業費(実績)		円	450,000	450,000	450,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
		財 源	一般財源		円	450,000	450,000		450,000
			特定財源		円	0	0		0
		(うち受益者負担)		円	0	0	0		
		人 件 費 (目 安)	所要人数(再任用以外)		人	0.3	0.3		0.3
			所要人数(再任用)		人	0.0	0.0		0.0
職員人件費(再任用以外)			円	2,480,100	2,475,900	2,473,200			
職員人件費(再任用)		円	0	0	0				
事業費+人件費		円	2,930,100	2,925,900	2,923,200				

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環 境 変 化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。
		平成24年4月に組織改正が行われ、産業振興課商工係に観光事業を取り扱う部署(商工観光係)が設置されたことに伴い、市内に地域でも人気のあるスイーツ店(和洋菓子パン取扱い店)が数多くあることから、市内外にそのお店を紹介することを目的に、近年人気の高まっているウォーキングイベントを手段として企画された。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。
		<ul style="list-style-type: none"> ・実施回数を重ねるごとに、参加店もイベントを機にPRを行う姿勢が強くなってきている。 ・参加店の増加により、2日間(2コース)開催となった。

仕 事 の 内 容	東大和市スイーツウォーキング			
担当部署・課長名	産業振興	課	観光	係 課長名 小川 泉

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・イベント参加者からは、事業の継続を求める意見も多くあった。			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取り組んだ	取組手法	① ② 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
・参加店（実行委員）の人数増員及び業種の幅を広げることで、市内業者との関わりを強化する。				
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容			
	【市の課題】 ・イベント及び店舗のPRに協力し、新規参加者（顧客）を増加させる。 ・事業のマンネリ化を防ぐ。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。			
	・新規参加の店舗が2店舗あった。 ・参加申込方法を電話から往復はがき及びインターネットに変更し、先着順の受付による混乱の解消と、より公平性が保たれ円滑な運営となった。また、市役所全体の電話回線の圧迫を無くすことが出来た。 ・参加者の5～6割が新規参加者となった。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題				
・事業のマンネリ化を防ぐ。 ・新規参加者（顧客）を増加させる。				
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）			
	・市独自のネットワーク（信用金庫の広報物、公共交通機関のSNS等）を活用したイベントPRを行い、新規参加者（顧客）を増加させる。 ・参加店（実行委員）の増加及び業種の幅を広げ、新規参加店を増やすことで事業のマンネリ化を防ぎ、参加者の関心を得る。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	・参加店の閑散期である夏に参加店を募集し、余裕のある事業計画を行う。			
(3)改革・改善案による期待成果				
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。				
成果	成果を向上させる。		経費	仕事の経費は維持する。